

第14回の学生のコメント

僕は正解が決まっている問題のほうが好きである。理由としては自分が合っていると確証が得られるからだ。小、中、高と定期テストや模擬試験では基本的に1つの問題に1つの答えだ。採点側からしたらその方が点数をつけやすいし、自分たちからしても自分はこう書いたから合っていると確信できる。大学に入って思ったのは成績のつけかたが適当だということ。入学してから3、4か月しかたっていないから詳しくはわからないけど少なくとも僕は思う。このこともあって正解の決まっている問題のほうが好きだ。もし一問一答の問題であれば採点側の採点ミスで大幅に点数が下がっていても本人が気づいて言いにいける。でもその問題が「正解のない」記述式の問題であったら、間違っただけの点数のままになってしまう。事実、大学のテストで解答用紙が返ってこず、点数だけがメールで送られてきた。そのとき書かれていた数字は「5」。50点中の5点だった。でも合っている自信があったから教授にもう一度確認してほしいと言った。しかし大学に保管してありしばらく学校にいないため見れないと言われ確認されるまで2週間待った。結局点数は35点でメールを打つときにミスしてしまっただけだったが、間の2週間は自信はあったがどこを間違えたんだろうと自信があるものまで信じられなくなっていた。だから答えのない問題は嫌である。授業は毎回興味のあるワードが出てきていたので話が聞きやすかった。

-----

口では”人それぞれいろんな考えがあって、人によって意見は異なるものだ”と言うが、実際、自分の考えとは異なった意見を聞いたとき、「え？ それってちがくない？」とってしまうことがある。別に自分の考えが正解で、その人の意見が不正解ということはないのに、正解か不正解で分けようとする癖がついてしまっていると思った。昨年一年間、大学受験に向けて、正解が1つの問いに対する勉強をしていて、自分の考えや意見を思考するということがあまりなかった。だから、大学へ入ってレポートや、講義で”あなたの考えを述べなさい。”ということが増えてとても辛い。考える癖がほんとうになくなったと思う。また、いつもそばにあるスマホが、調べれば答えを教えてくれるという状況も良くないと思う。自分で思考する環境がたくさんある大学生活をムダにしている気がする。センター試験のとき私は入院していて、病院から車で試験場まで行き、車イスを使って移動した。車イスが使えるようにエレベーターのある棟に変えてもらい、部屋も広い部屋でした。気分が悪くなったら声をかけてくださいと優しい声をかけてもらい、落ちついて受験できて、本当にありがたかった。

-----

私はひとつの正解がある問題の方が得意で、大学のように自分で考え独自の意見、解答をつくることの方が苦手です。たぶん、そのような経験・訓練が足りないからなのだろうと思うけれど、自分の意見を相手がどう感じるかということ意識しすぎてしまい、何を書いたらいいか分からなくなってしまいます。正解はないのに、正解を見つけようとしてしまいます。高校までは1つの答えを出す勉強をしていたのに、今はもう慣れたけれど最初は戸惑いました。…後略…

-----

私が小学2年生のとき、テストで「ピンクの服を着るのはどっち？」というかんじの問題がでて、選択肢は①女の子、②男の子、③どちらでもよいの3択でした。私はピンクなら女の子でしょ！と思い①を選びましたが、答えは③でした。そこで私は別に男の子でもピンク着ていいんだあ！って学んだし、自分の思い込みに気付いたので、よかったと思いました。…後略…

-----

中学校の美術のテストで「この絵を見て思ったことを書きなさい。」という問題がありました。絵は「ヴィーナスの誕生」でヴィーナスが貝殻の上に立っている姿が中心に描かれているものでした。他の子の回答は「背景が〜」や「色が〜」など様々でしたが、私は「中心の女性がどうして裸なのか気になりました。」と少し恥ずかしかったです。書いたなら満点を頂けました。その美術の先生はどういった回答を求めていたのか今も分かりませんが、これまでに無い形のテストだったので思ったことをかけるというのは良かったです。

-----

…小中でも道德の授業では、先生から「答えは1つではないから、間違っている意見はない」と言われた。…後略…

-----

高校生の時は、小テストと宿題がとても多い学校だった上に、部活が19時くらいまであったので、本を読む余裕も時間もなかったのに比べて、大学は授業が午前中で終わったり、空きコマがあるので、その時間で映画を見たり図書館で本を読む時間があるという点がとても嬉しいです。今まで新聞を読んでいなかったのですが、次週のテストのために新聞を開いたら、読むのに夢中になり、家でも読むようになりました。この授業で色んな「きっかけ」を得られたことが、とても良かったです。

-----

…高校のとき、英語の先生の教え方について問題になったことがあります。私のクラスは選抜クラスといわれ、受験に対して意識が高いクラスでした。英語だけで2科目あったので、2人の先生から英語を教わっていました。ひとはA先生で、留学・商社を経て教職に就いた方で、コミュニケーションや英語を話すということに重きをおく方でした。もうひとりのB先生は参考書・教科書通りに授業を行い、いわゆる受験でつかえる英語を教えてくださいました。私のクラスでは圧倒的にB先生のほうが人気でした。受験で「つかえる」英語を教えてくださいただけたからです。ついにはA先生の授業の時間は受験につかえない＝ムダとして先生を変えてほしいと学年主任の先生に抗議する子もでてきました。「A先生泣いてたよ」と言った友人の声が忘れられません。今の教育現場の環境では教師の方も型にはめられて、誹謗中傷的にされてしまうのだと思い知った出来事でした。「正解がひとつ」の問題ばかりが重視される受験でなければ、A先生の教え方も受け入れられたのだろうなと考えてしまいました。

正解主義の問題について、小、中学校のときは本当にそうだったと思う。しかし小学5、6年生のときにあった「国際」という授業では、担当の先生が「賛成」「反対」と表裏に書かれた札を配り、使っていた。内容は時事的な問題、国際問題などについてで、生徒が意見を言う機会も多かった。初めは「あの子の意見は違う。あの子が合ってる」と言う生徒が多かったが、少しずつ意見に対して自分はどうか、良い視点などを考えるようになり、最後の授業では全員で討論をし、問題の解決策を出した。これは授業であるが、良いものだったと思う。また今私立中学2年の妹の授業に「言語」「未来」というものがある。新しくなる大学入試のために自分の意見を言う授業だと言っていた。特に「未来」の授業では「勉強とは」「○○の授業は何を学ぶのか」という難しい課題もあり、妹はめんどくさい、と言っていたが、私はとても良いものだと思う。テストについては、現代社会のテストが良かった。時事問題が3問出てあまりにも大それた答えでなければ丸がつく。他の生徒とは違う、良い視点であるとプラス点数がつき、100点満点ではなかった。点数をとるためにニュースを注意深く見るようになり、良かったと考える。…後略…

【これまでのテストでひどいもの】語学で単語の1つずつの意味を問うもの（必要ではあるだろうが、文章の中での意味やそれが分からないと解けない問題の方が有効では？教科書を丸暗記させそれを書かせる（高校）（教科書の文しか身に付かない。習ったことを応用させる力が大切なはず）

…センター試験でイヤホンが耳に合わない人はヘッドホンに変えてもらえる。とてもいい配慮だと思った。…後略…

【あべのコメント：わたしのころはスピーカーでながされる音声をきいてましたね。】

私が免許センターで本免の試験を受けたときに、日本語で書かれた問題とは別に、外国人用に英語やスペイン語の問題も用意されていました。しかし、試験に関する注意事項や説明等はすべて、口頭で、日本語のみでした。日本語の分からない外国人は言われたことが分からず、試験官に叱られていました。これは、教育の場とは少し違いますが、全員が同じことを、同じようにすることが困難な場合もあり、必要であれば「特別扱い」もしてもよいと思います。…後略…

私がひどいと思ったテストは英語のリスニングの問題です。教室にある1つだけのスピーカーを頼りに必死に英語を聞き取らなくてははいけません、座席が端の方だったとき、聞き取りづらいことがありました。音量を上げたくても、教室ではそれがMAXであるため、上げてもらうには放送室に伝えなくてはならないし、そのためにわざわざ先生を呼ぶのも抵抗がある。微妙な音量であることが多かったためリスニングの問題はテストで一番苦手でした。センター試験は1人ずつ音源が配られるため、自分の聴きやすい音量に調節することができました。それに感動した記憶があります。…後略…

英検やTOEICのリスニング問題は、耳がちゃんと聴こえる前提ですすめられていると思います。しかし、距離の問題や、人が紙をめくる音、くしゃみや咳の音で、とても聴こえづらいときがあります。なので、センター試験みたいにイヤホンで出来るようになれば、片方の耳がきこえづらい人でも、受けやすくなるのではないかと、思った。…後略…

…私は、テストの時、焦りや緊張から手汗がひどくなり、解答用紙がしなってしまい、やぶれそうになったりして、とても困っていました。消しゴムの上に手を置いて書いたりなど工夫をしていましたが、カンニングをしているのではないかと不正行為をしていると思われそうで、あまり、テストに集中できませんでした。…後略…

…私はセンター試験の英語の時間、私の席が1番右側だった為、90分間ずっととなりに試験官がいたため、とても気が散って集中できなかったのを思い出しました。手を上げて「気が散るのでもう少し移動してくれませんか。」とつい言ってしまうそうなくらいきつかったです。

私は貧血持ちで、特に体調があまり良くない時などは、意識を失って倒れてしまいます。高校入試の際、私はあまり体調が優れず、不安な気持ちで入試に向かいました。そして数学のテストを受けている際、耐えられないほどの貧血におそわれ、手を上げましたがなかなか試験官にも気づいてもらえず、やっと見つけてもらった時には手おくれでそのまま教室で倒れてしまいました。その後、先生達にはこぼれ、残りのテストは保健室での受験となりました。テストが終わった後、友だちにその話をすると、「私の受けたクラスでは保健室受験を希望する人を聞かれた」と言われました。私のクラスでは、試験前にそのようなことは言われませんでした。結局、試験には受けましたが、最初から保健室でテストを受けれたら「もし倒れてしまったら」という心配が減って、より集中してテストを受けれたのでは、とくやししく思いました。私の貧血は心情による影響もとても大きいので。

…この授業で、コメントを読むたびに私って何て無知なんだろうと落胆していました。しかし、それではだめだと思い、新聞やSNS、本などを積極的に見て、考えるようになったことがすごく良かったと思います。逆に、知ることがたくさんあって、外にはたくさん問題があるのに、自分にできることは何か考えた所で行動に移すことができない自分は良くないと思いました。

【あべのコメント：わたし自身が、学生のコメントをみて「そうなんだー」と発見しているので、無知なのは大体みんなおんなじです。200人くらいの人があつまると、有益な情報がでてくるということです。権限がない状態では、できることはそんなにないかもしれません。それでも行動する人はいますけどね。大事なのは、自分がなにかの権限をもったとき、どういうふうに調整できるかじゃないでしょうか。わたしは、授業内容を自由に決定できるという権限をあたえられているので、意義のある内容にしようと努力しているだけです。】

私の知りあいのニュージーランド人の息子さんが、文字が読むことができません。ニュージーランドではこの障害を持っている人が多いようですが、日本では少ないから苦労すると言っていました。学校では、先生に問題を読み上げてもらっているそうです。…中略…小学生の算数のテストについて。いところが算数がすごく得意で、習っていないのに分数、割算、かけ算、マイナスの概念を理解しています。テストで彼なりの考え方で解答したら、合っているのに、習っていないのでという理由で丸ではありませんでした。子どもの才能の芽をつんでいると思います。

…去年、吉岡里帆さんのドラマに大人でも時の読み書きができずに就職先が見つからなくて困っている人が出てきました。その登場人物は恥ずかしくて、恐くて、周りには言い出せない様子でした。TEDの少年のように、早く気がつけた子も周りからの声におびえているのだなと読み取れました。…中略…授業の中のポイントを見出すのが受講生であるという考えに心が動かされた。…後略…

【あべのコメント：マンガが原作の『健康で文化的な最低限度の生活』というドラマですね。】

私が介護等体験で特別支援学校に行ったとき、iPadを使っているのを初めて見たのではじめは驚きましたが、一人ひとりができるべく同じラインにたって授業ができるようになるので、そのような機器を使うのはとても良い方法だと思いました。特別支援学校では認められているのに、どうして小、中、高校での発達障がいをもつ人には認められないのか疑問に思いました。最近では普通の授業からiPadなどの電子機器が導入されている学校もあるので、全員がiPadで授業する時代になれば障がいをもつ人でも気がねなく使えるのだろうと感じました。でも逆に、電子機器がどうしても上手に使えない人への対策についても考えていかなければいけないと思います。…後略…

…友達から「この講義、楽だよ～」という風に言われこの講義を取ったのですが、本当に自分がなさげなく感じた。14回の講義どの回も響いたとは言えないが、間違いなく心を動かされた場面はあった。理由は不純でも、ここに来たことで、自分の中の視野が広がった。講義を聞かないと目を向けることがない世界を教えてくれたのが非常に良いと思った。

【あべのコメント：それはよかったです。「楽単」（楽に単位がとれる）みたいなことをいうのは、やめてほしいです。】

私の高校では、テスト前に腕や手をケガ（骨折）していて、事前に申請するとみんなとはちがった問題用紙がくばられます。問題はそのままです。ただ字や解答欄がすべて大きくなっており、うまく手が使えなくても書きやすいようになっています。また外国籍の男の子は漢字がよめないので全ての字にふりがながふってありました。ただ、問題はそのままです。このようにハンデがある人も置いてけぼりにされず、テストが受けられる環境が当たり前になるといいなと思います。授業について。生徒自身に考えさせる内容が多く、他の教養科目とは違った面白さがあった。

-----

テストの経験について。よかったものとしては、計算するための余白を広くとっていたテストである。それによって、私は余白を気にせず計算することができたし、見直しもしっかり行えた。ひどいものとしては、その反対で、計算や考えるための余白がまったくないテストだ。特に国語のテストで、30文字以内で答えなさいという問題があったのだが、そこで余白がないために、答案用紙になんども消しては書くことを繰り返した。結果、当たり前だが、答案用紙は汚くなる。それによって、先生からわるい目で見られてしまうリスクや、誤った採点をされてしまうリスクがあると思ったことがある。…後略…

-----

…授業中に見た映像の話は、私の同級生でもいたので、似ているなと思いました。数学だけ別の所で行う子や、みんなの前では発言できないけど2人なら話せる子には先生が耳もとまで行き発表するなどして、個別性を認められていたなと思います。

-----

私は小学生の時にある担任の先生がとても勉強熱心で、毎日課題をたくさん出してくることがあった。その時同じクラスの同級生の子は周りのスピードについていけず、深夜まで課題をやっているということその子の母から聞いたことがあった。結局その子は勉強に精神をけずりすぎて胃かいようになってしまった。その時私はそこまで追いつめられて勉強をする意味があるのかなと思った。「自分のペースで」ということをなぜ周りももっと言ってあげなかったのか、と今でも思う。…後略…

-----

「学校での教育はシステム化されており、その仕組みになじめる人となじめない人がいる」という文章に、高校の時の教科担任だった先生の、「今の高校は（受験の為の）予備校化している」という発言を思い出しました。先生の時代では日本史と世界史どちらも勉強したけれど、今はどの高校もほとんどどちらかを選択し、センター試験に頻出する用語を最も大事なものとして教えると…。本来の意味での学びの概念は大学に入って初めて触れた気がします。高3の時、1つの部屋で皆が同じ問題を一心不乱にカリカリ解いているとき、高等教育学校ていうか大学受験エキスパート養成学校だな、と思ったりしました。けれどもその一体感が勉強意欲にもなっていたので、一概に負の文化とも言えないとも思います。…中略…レジュメに目次つけて下さると嬉しいです。

-----

【あべのコメント：ウェブサイトを今年の3月にひっこしたのですが、今度からイーパブ（ePub）形式のファイルがアップできるようになったので、配布プリントはPDFだけでなく、イーパブ＝電子書籍形式のファイルでも公開しようと思います。それには目次をつけますね。PDFはスマホのような小さな画面では読みにくいので。】

-----

高校の時、テスト結果による学年順位を毎回やり出していましたが、競争を煽って何の意味があるのかと思いました。高校は本当に順位が重要視されていました。担当との面談でもこの前のテストは何位だったからどうか、あの科目の順位が低いとか、友達どうしの会話でもあいつは何位だとかそんな話が多かったように思います。学習とは、自分の中の問題であり、自分が何をどう学んだかという一人ひとりのものであり、競争とは本来かけ離れたところにあると思います。…後略…

-----

【あべのコメント：20年以上まえのことなので、よく覚えていませんが、高校のときは毎回のテスト上位者を科目ごとに一覧にした紙をくばられていたような気がしますね。】

-----

小中学校は義務教育なので、なじめる人、なじめない人がいてもそれは当たり前だろう。高校も今だとほとんど義務教育のような扱いをうけているので、まだ理解できるが、大学に来ておきながら寝ていたり、課題を出さないというのは申し訳ないが理解できない。そんなに講義を受けたくないのなら来なければいいと思うのだが（横で寝られたら迷惑）、彼らはなぜ大学に通うのでしょうか。また、テストのための学習とは言われますが、お金をいただいている以上、ある程度は知識をつけさせなければなりません。日頃から意欲をもって勉強をしていればテストも問題ないはずで、生徒が全然勉強をしないから、テストを作って勉強させるのです。学校は学びの場です。学ぶ気がないなら来なくていいと思います。そうすればテストも必要なくなるでしょう。元々やらなくても単位は出せるのですから…。やる気のあがる人が集まれば、iPadだって持ってきても周りは特に言わないでしょう。やる気のない人たちが周りの人たちの意欲を下げ、学ぶ機会を奪っているのです。今一度、来るならば考えてもらいたいです。できるかどうかを言っているのではありません。やりたいかどうか、です。コメントの紹介は色々な意見に触れられて、刺激を受けることができました。

…テストについて、今まで気になったのは解答欄の大きさです。字が大きい人にとってははみ出したら0点、という先生はとても嫌いだったと思う。美術の作品に点数をつけられるのも気に入らなかった。正解のないものに点数をつけるのは難しい。

-----

私は小学校のころに利き手を骨折して非利き手で字を書かなければならないときにテストがありました。綺麗な字なんてもちろん書けなかったし、時間が足りなくて最後まで書けなかったのですが、担任の先生が気を使ってくれて、私だけ時間を延長してくれて、最後の方は他の人に代筆で書いてもらって何とかテストを終わらせた。小学校だからそういう優しい対応をしてもらうことができたのかなと思い、これが大学入試センター試験だったら、こういった対応をもらえるんだろうなと思いました。時間の延長はしてもらえるのだろうか？代筆は可能なのだろうか？もし代筆が可能だとしても数学とは自分で計算式考えて計算して…とかは代筆ではできないだろうなあ…デジタル教科書とかって今通信教育とかでも使われていると思うので、読み書きができない子のためだけじゃなくってみんなにとって使いやすいものになるんだろうなと思いました。…後略…

【あべのコメント：計算式の代筆というのは着眼点がいいですね。デジタル教科書は、いいですね。わすれものが多い人でもデジタル教科書なら心配いらない。】

-----

私は看護学部なので、独自性よりも正確性を求められていると感じる授業が多いです。看護師になりたいから看護学部に入ったし、好きなことを学んではいるのですが、どうしても好きになれない授業もあります。ですが、その授業を受けなければ看護師にはなれないし、好きなものだけを勉強することはできません。友達と比べてみても授業は忙しいし、ゆとりもありません。医療職についている人は働きすぎな人が多いです。必修の科目で知識を問われることが多いので、教養科目で考えることを問われると上手く言葉や文章にできていないと感じることもたくさんありますが、このような科目があるおかげで、なんとか文章にしようと頑張ることで、自分のためにもなっていると思いました。…後略…

-----

…今、1時に寝て6時に起きる生活をしていて、韓国語を勉強したいのに時間をうまく取れなくてできていません。アルバイトに時間を費やすのではなく、自分が学びたいと思ったことに時間を使えるようにしたいです。

【あべのコメント：最近『ミセン』っていう韓国のドラマみましたけど、最高におもしろかったですよ！貿易会社に就職した新入社員たちのドラマ。／移動時間などに音楽をきくのも方法の1つです。】

-----

私の母も現在仕事をしながら空き時間に大学にイタリア語を学びに行っています。私はなぜ社会人になっても第二言語を学びたい、勉強したいと思うのか不思議でした。この前、本人に聞いてみたら、イタリアが好きでいつかはイタリアに旅行に行きたいからその時に必要になるから、今から準備をしていると言っていました。今の自分は第二言語を学ぶのはカリキュラムとして強制的にとっているの学ぶ楽しさを忘れていました。私がこれまでのテストでひどいと感じたものは、小学校の時にあった「日本国憲法前文」をすべて暗記し、それを一字一句間違えずにいえるかテストをし、そのあとはすべて書けるかのテストを行いました。私は小学生のころ他の周りの小学校もやっているとっていて、高校に入って周りの人に聞いたらやっていない人が大多数でなんでやったのか疑問に思いました。時間を返してほしい。

【あべのコメント：そんなことがあるんですねえ。語彙力（ごいりょく）はつくとは思いますが。フレーズ丸暗記は。】

-----

…プリントで平仮名が多くて私は漢字が苦手なのでたすかりました。

-----

学び方に限らず、日本は様々な場面で選択肢が少ないと思います。それに現状を変えることをしたがる風潮があるので、改善するのも困難だと思います。TEDトークの男の子がiPadを最終的に学校に持って行けるようになったことの方が驚きです。「そういう学校に行ってください」等と言われて終わらせられた人たちもいるのではないのでしょうか。『光とともに』という漫画がおすすめです。自閉症の息子の普通学級での席が名前順になっていたことに母親が泣いて喜んでいました。名前順の1番最後にとってつけたようではないと（東あずまという名字なので、ちゃんと1番前になっていた）。…中略…プリントの平仮名が多くて読みづらかったです。

-----

…先生の声がちょっと聞こえにくかったです。レジュメをもっと簡潔にまとめていただくと、見やすいな、と思いました。

-----

…この講義のスライドでプリントと同じ内容を表示してスクロールしていく方式がスクロールや表示の拡大を見ていると画面酔いして気持ち悪くなるので別の方法があるなら変えてほしい。この授業では多文化が日本と他国の文化ではなく、自分と隣の人レベルで身近なものであると感じた。この授業を通して私が得たものは、「本当に豊かな社会とは何なのだろう」という問いである。その答えは見つかっていないが、単純な尺度ではかれないものも多く含まれることは明らかである。

私は日本の義務教育の仕方は好きではありません。何のために勉強しているのか分からないし、人生の役に立つかわからないと思うことがあります。成績のつけ方も多少は先生の主観が入っているのが不平等だと思います。積極性が好まれるつまらない授業ばかりです。勉強は自分の知識を増やし、人生を豊かにしてくれる楽しいものであるべきだと思います。詰め込んで記憶力をただ測られるテストももう時代遅れだと思います。フィンランドは義務教育を一新して、教育において成功を収めたそうです。それは宿題を廃止し、全国統一テストをなくすという日本では考えられないものでした。授業も自分が好きなことを主にやるので楽しそうでした。…中略…授業について、書く意義が感じられない感想ではなく自分の考えを書けば良いのでレポートみたいで好きです。授業の内容も興味のある分野で、好きです。ただ進行が単調で、眠たくなります（笑）不真面目な生徒が多くてイライラします。…後略…

…自分の学科には、定年を過ぎた方が一緒に学んでいます。経験も知識も多く、それでも学ぼうとする主体性がすごいと思います。充実しているんだろうなと思います。…後略…

小学から中学、中学から高校までは難易度の差はあれ一問一答が基本にあったので、「勉強方法」にはあまり困りませんでした。高校3年の時によく「大学の勉強は高校までとは違う」という話をききました。でも受験期にすることは“大学での勉強の準備”ではありません。私は“学ぶ”ことが好きですが、受験は中学時も高校時も嫌いでした。受験のための勉強が嫌いでした。大学1年では今までの勉強方法ではたちうちできないのに先生たちも「本を読んでちゃんとやりなさい」といわんばかりにレポートを出します。大学の先生が悪いのか高校までの勉強が悪いのか私が悪いのか知りませんが、とても困りました。「ひょうせつはダメ」におびえて自分なりに形式を工夫しましたが3年の今見返すと酷いものです。3年になって一番感じているのは急に「仕事・就職」についてきかれるようになったことです。一番嫌なのは「大学」と「仕事」を直接結びつけられることです。私は受験期からずっと「この大学に入るのは学びたいからで就職は全く考えていない」と公言していました。今もそうです。なのに、「大学でやったことと関係ない職に就くの？」といわれます。大学を“仕事のための準備機関”みたいに思っている人が多くて本当に嫌です。私の感覚が変なののでしょうか。紙とペンを強制しないように、機械を強制しない、人に合わせた媒体を選べるようになってほしいです。…中略…

この授業で普段考えないことと向き合うことができ良い刺激でした。ただ私は自分にゆとりがないのもありますし、個人主義(?)のような思考があるので考えることにすぐ限界をもってしまいました。それが人間的欠陥のように感じられて少し心が痛かったです。

…ひどいと思った問題は私の理解力が低かっただけかもしれませんが、問いの意味が分からなかったり問いの問題文が紛らわしく、いろんな捉え方、考え方が出来てしまう問題です。形式では、社会のテストだったのですが、答えが分かっても漢字で丁寧に記入しなければバツで△すらない形式で国語のテストでもないのに、なんでだろう?と思い、ひどいなあ~と思いました。この授業で良いなあと思うのは、プリント+ビデオで学べることです。プリントだけでも分かりますが、やはりビデオを観るとどういうことなのか分かりやすく、印象に残っています。改善したらいいと思うのは寝ている人が居ることです。でも寝ている人もビデオが始まると殆ど目が覚まし息を吹き返しているように思うのもう少しビデオ鑑賞の時間が増えれば理解も深まると思うのでいいと思います。…後略…

読字障害、ニューカマーの人たちの試験は色々な見直しや配慮ができたとしても、一般的な方法で行われる試験と大きく異なってしまうため難しい問題だと思います。けれど、それを実現できる、または柔軟に対応できる社会こそ多文化社会だなと思います。…中略…生涯学習センターがあるけれど、地元の近くのセンターや近くの市の施設に行くけれど「名前だけ」な感じがまだしていると感じます。地域の人たちが集まって何かに取り組む、打ち込むということはよくあるけれど、もっと社会に知られるような取り組みがあれば利用者が増えるのにな、と思います。…後略…

この授業の中では、自分なりの考えをもつことの大切さがよく分かりました。私のコメントが紹介されることは1度もなかったのでもだまだ自分の視野や世界が狭いんだと思った。でも、他の人のコメントを読んで面白いと思うことがたくさんあったし、「これはこーゆーものだ」と今まで思っていたものの見方が変わって面白かった。テストに関しては、昔から「自分の考えを書きなさい。」という問題が、中高のテストでは結局何が点数をつける基準なんだろう、と思っていた。

-----

今年のセンター試験で、国語の試験の問題文に定規をあてて読んだ受験生が不正認定されたというニュースを思い出しました。センター試験の規定で定規の使用は明確に禁止されているため、不正認定されても仕方ないと思う一方、センター試験における配慮が十分ではないという問題が浮かび上がった一件だとも思いました。実際に必要とされている配慮と、受けられる配慮との間にズレがあるのではないかと感じます。規模の大きいテストなので、1人1人の要望に対応するのは現実的ではないかと思いますが、このような大きな機関が動くことで社会全体が変わるのではないかと思います。…後略…

【あべのコメント：関連して、「リーディングトラッカー」というのがあります。その行だけが見えるように、他の行を見えなくするための簡単な道具です。公共図書館においてある場合もあります。この授業の配布プリントが読みづらいという声がたくさんあるのも、行がたくさんあって、字がつかまっていることに原因があります。問題をわかっているながら毎回同じことをしているので、とても悪いのですが、「これだけの内容をつめこみたい」という欲に負けてしまう。】

-----

…履歴書のレポートもテスト前よりも中間レポートとしてももう少し早めの時期にさせていただければありがたかったのになあと思いました。テスト問題の事前発表とまとめてくると、他の講義の課題とあわせてやっつけ仕事になってしまいがちです。でも、テスト問題を前もって発表してもらえると、ちゃんと準備して答えを考えられるのでいいなと思います。

【あべのコメント：今年度は5限に「多言語社会研究」という授業を臨時で担当していて、そちらの準備に集中していたので、あつという間に14回がおわった感じがします。そちらの内容もプリントを公開していますので、ご紹介しておきます (<http://hituzinosanpo.sakura.ne.jp/tagengo2019a/>)。】

-----

英語のテストが、テキスト本文を丸暗記して、その上で答えさせるテストがありました。「実力テスト」で応用の問題とかが出ればいいのに、わざわざどうして授業の内容の復習するかちょっと疑問でした。(センター試験直前に…)

-----

テストの時、教科書どおりに書かないと、たとえ正解でも不正解にされることがあった。非常に理不尽だと思ったし、学生の応用能力を潰す教育だと思う。…後略…

-----

私は人前で発表したりするのがとても苦手です。きちんと話そうとしても緊張して声がふるえてしまいます。発表を早く終わらせたくて早口になってしまったり、伝えようと思っていたことも上手く伝えられないことが多いです。そんな緊張してしまう私にとって中学での歌のテストは地獄でした。クラスメート全員と先生の前で歌うことは私にとってとても苦痛でした。発表するだけでも辛いのにましてや歌を歌うなんて…。歌手を目指すわけでもないのに「人前で」上手く歌う必要なんてあるの?と何度も思っていました。もちろんテストは最悪で、声がふるえて焦って上手く音はとれないし、いつもならきちんと歌えるのに全然上手く歌えず、これじゃ皆に音痴と思われて終わるだけだ…と思いながら歌っていました。先生もきっとこういう私みたいな人が他にもいることをわかっているのになぜ音楽のテストは人前で、しかも1人や2人で歌わせるのでしょうか。

-----

…悪い点をしいて言うなら、もう少しレジュメが見やすいとなお良いと思う。…後略…

-----

…レジュメが文字だらけであまりすきまもないので、少し見づらかったです。

-----

…この授業について、なるほどなあ、と思うことも多くあったが、あまり特異な経験談が自分にはないなと感じてしまった。

【あべのコメント：そもそも、わたしは「いまどきの大学生」がどんな経験をしてきているのか、などを知らないの、学生にとって何気ないことでも、わたしからすると「そうなのか」と感じられることは多いです。】

-----

…私は塾で講師のアルバイトをしていてそこでの話です。塾内で製作された中3の英語のテストで明らかに誤答と思われる答えが正解になっていました。自分でもこれがなぜ正解だったか納得がいかず大学のアイコトバへ行きネイティブの先生に質問してみたら、やはり、まちがっている、こんな英語はつかわないとおしえてもらいました。…後略…

【あべのコメント：テスト問題をつくるのは、けっこう難易度の高いことなので。】

-----

…中学校・高校の国語のテストは問題集が範囲になっており、問題もそのまま出されるような形式が多かった。したがって問題集の解答を暗記さえすれば要約問題もできてしまうようなものだった。テストで点をとるための勉強となってしまう、自分の意見を考えまとめることや要約する力があまりつかないと感じた。問題集だとテストの採点がしやすいといった、先生の負担が軽くなるという利点があるからなのかと思った。…後略…

私は中学の頃から国語のテストについて疑問を持っていました。課題として出されているワークと同じ問題が出ていたからです。国語という教科は文章を読み、その文章に対する問いに答えられるくらい読み解くことに意味があると思います。しかし、1度課題として解いた問題と同じものが出題されるので、みんなそのワークの答えを丸暗記していました。そんなテストでは、本当の国語力を測ることはできないし、覚えてしまえば誰でも点数をもらうことができちゃう…中略…私がこの授業で1番考えさせられたのは、「関係の非対称性について」です。特殊だと思われる側の名前だけ広く知られていて、実際私も墨字や晴眼者という言葉がこの授業で初めて知り、すごく恥ずかしくなりました。結局自分のことしか考えてなくて、自分がマジョリティ側であることに安心していただけだと思います。この授業を通して、マジョリティ側が良いわけでもなんでもないと思えるようになったし、障がいや性、文化などに関して視野を広げることができました。テストに関しても、それこそ上に書いたような暗記ではなくて、アンテナをきたえ、関心を見つけることが目的だというのがすごく良いと思いました。

…動画内の男の子が、iPadを持ってくることに対して、「ずるいと思われたらどうするの?」と先生に聞かれたと話していて、どうしてそんなに頭がかたいのだろう、と思いました。「平等」と「公平」は違います。読めないという障害があるのなら、iPadという手段で公平に学ぶ機会をつくるのが1番大事なことだろうと私は思います。…後略…

ビデオから、「iPadの使用は平等ではない」かのような意見があって、学校本来の目的は教育の機会を平等に提供することなのに、同じ方法で教えることが平等だと考えていると思った。多文化社会における平等とは、個人に合わせた方法でみんなが同じスタートラインに立つことであると考えられた。

…iPadは様々なアプリを入れることで授業に関係ないゲームなどもすることができるが、学校はそういったアプリによって授業に集中できなくなったりする可能性があるから禁止したいのではないかと感じた。しかし学習障害の子どもの勉強したいという意思を大人が率直に受け入れ、信じて、子どもに合った学習方法で学ばせることが重要だと感じた。…中略…動画を見る時間があつたので、わかりやすかったです。プリントが文字だけなので少し退屈でした。

【あべのコメント：iPadは特定のアプリしか使用できないように制限する機能があります。】

…LDは、障害であるのに、「努力してない」や「もっとがんばって」と言われてしまうことが多いです。子どもは“がんばっています”TEDでもあったように“宿題に4時間”もかけています。そのような子どものためにも学校は保護者と連携する必要があると感じます。色々な子どもがいる、十人十色を小学校で知ることができるのはとても良いことだと思います。…後略…

…小学生の頃によく読んでいた絵本を思い出しました。『ありがとう、フォルカーせんせい』というタイトルの本です。主人公の女の子は失読症という学習障害を持っていて、周りの子から、イジメを受けたり、馬鹿にされたりして学校が大嫌いな子でした。でも、小5の時に会ったフォルカー先生が彼女の失読症に気づき、彼女をイジメからも、学習障害からも救ってくれるというお話です。…中略…先生が主人公に対してとった学習方法が独特だった…後略…

児童発達支援センターの職員の方から学習障害について聞く機会がありました。そこで、学習障害があると文字の読み書きが苦手であり、特に板書をするのが難しいということを知りました。何気なく、何の問題もなく板書が出来る私は何も感じてきませんでした。LDの子にとっては紙と鉛筆を使って、皆と同じペースで板書をする、ということが固定化されていることに息苦しさを感じていたのかな、と思いました。児童発達支援センターでは、個人に合った手作りのイスを使用したり、難聴の子どもの補聴器に直接先生の声が届くように先生がマイクを付けたりする、という支援を行っているそうです。通常の学校に通う子どもに対しても、個人に合った支援を行うべきだと思います。…後略…

私は正直、目的をもって、学びたいという気持ちがあって勉強したことがありません。「テストのための教育」という言葉をみたとき、妙に納得しました。大学入試まで勉強してきたことは、すべて“テスト”のためだったように感じます。もちろん、しっかり学びたいという意思があって勉強する人の方が多いでしょう。でも、私は違いました。大学に入ったのも、大学進学をした方がいいという漠然としたイメージがあつたからでした。今、自分の大学生活を振り返ってみ



ても、学びたいから講義を受けているのではなくて、単位を取るために勉強しているような気がしてなりません。何か目的をもって学ぶことができたなら、勉強に対する価値観も変わるのだろうなと感じました。…後略…

【あべのコメント：あせらずに、なにかが見つかるのを待ってみてもいいんじゃないですかね。】

私がやっているバイトは、学習障害を持つ子や”周りと同じように勉強ができない”と思っている子たち向けの家庭教師を紹介するものです。まずはスタッフがお子さんや両親からお子さんがどのようなことが苦手なのか、どういう障害を持っているのか、ヒアリングした上で、スタッフがその子の勉強のやり方を相談、そしてそれを家庭教師に伝えてやってもらうことになります。例えばただ勉強の進度が部活が忙しくて遅れているというような子であれば、家でその子のペースに合わせてやっていく、ですむのですが、障害を持っている子は本当に症状が様々で、また家庭によっては”子は自分が勉強ができないと思っている。障害だということは本人には伝えてないので言わないで”という両親もいます。また、心の病気を持っていて、今は勉強どころではないのでは…？というお子さんもいます。出会うたびに”その人に合ったやり方”の難しさを感じます。「本当に全てに対応できる学習方法の普及」の実現の希望はあっても、正直、いつどのようにできるようになるんだろう…とってしまいます。…後略…

【あべのコメント：そのとき、その場で、できることを考えるということが大事だと思います。難しいと感じているということは、「ちゃんとやりたい」と思っているからで、そういう思いをもった人がいるんな場にいるということは貴重なことだと考えます。わたしたちは神さまではない。圧倒的権限をもつ支配者でもない。ひとつひとつ、つみあげていって、定期的にふりかえる。そのくりかえしでしょう。なお、これは『サムサッカー』という映画で、キアヌ・リーブスが最後にいうセリフをアレンジしたコメントです。】

…よくないと思ったところは生徒が授業中に進んで自分の意見を言いやすい環境ではなかったところです。授業自体はよいのですが、もう少し能動的に受けるように出来ればと思いました。

…授業の評価（良くなかった点）：コメントについてその他大勢と同じような意見であって独自性が見出せないとしても、授業を受けた「私」が考えた「私」だけの意見であることに変わりはないので、評価してほしいです。…後略…

【あべのコメント：独自性をもとめるのはテストの解答についてです。毎回のコメントの評価はそういうことではないです。第1回のプリントで説明したとおりです。たとえば特許を申請するとき、すでにそのようなものがあれば特許はとれないですね。研究者の文化でいう独自性というのは、そういうことです。学部生はそこまでのレベルを要求されないにしても、今回のテストでは、他の学生と同じようなものにならないようにしてほしいということです。それもアンテナをきたえるためには必要なことです。】

…この授業について、よい点。人との差によって点を変えること。悪いこと。先に見た人の回答の方が有利になる仕組みだと公言したこと。

【あべのコメント：ん？よくわからないけど、採点するなかで同じような解答があったとき、先に点数をつけたほうは「同じような解答」だと評価されないという意味ですかね。いきなり採点しなければいいだけです。全部目をとおして、あれこれ採点のポイントをきめます。】

…少し残念だったのが、映画やドラマの紹介が思った以上に少なかったこと。ただTEDやドキュメンタリー映画を授業中に見られたことが多かったので、海外や国内の現状を把握できたり、社会的マイノリティ的な意見に多く接することのできる機会があったりして、自分の考えをずいぶん変化させられたと思う。

…テストについてです。今さらかもしれませんが、学生から質問を募集するのはあまり好みじゃないです。選ばれた質問を書いた人は、あらかじめ自分で書いてくれば当日は楽だし、その場で出された初見の問題が減るのは少し不公平だと思うからです。…後略…

【あべのコメント：授業づくりに貢献した学生が得をするのは当然のことでしょう。毎回のプリントに学生のコメントをたくさんつけているのも、「学生がコメントで授業内容を完成させる」という趣旨でやっています。】

…この授業の良いところは、他の一般教養科目と違ってテーマや議題が狭い範囲で絞られているわけじゃなくて色々な分野に触れられる所です。少しくしたらいいと思うのは、生徒の発言や意見を促したり生徒同士のコミュニケーションやグループワークを行うとより価値のある授業になると思います。

…授業で学んだテーマのうち、%ぐらいは自分の大学で勉強したことがあります。しかし、日本人の先生の視点から学べてよかったと思います。毎週授業の内容を以前習ったことを比較することを通して、文化に関する課題を前より理解できたと思います。そして、いろいろな新しいことも習ったし、たくさんの文献ももらったし、授業で見た動画も面白かったし、この授業で満足です。

学業・サークル・バイトと今ゆとりが全然ないです。ゆとりが欲しいです。この間ツイッターで「私の会社は、土日と水曜も休みをとっています。」こうやって休みを取れば、月曜「昨日休んだから今日頑張ろう」火曜「明日休みだから今日頑張ろう」という気持ちになれるので、仕事を頑張れるし、おかげで質の良い仕事ができます。と言っていました。めっちゃ良くないですか…？これ、学校にも取り入れて欲しいです。5日間だったら授業を受け、質の悪いものになっちゃうより、週4日、質の良い授業をした方が良いのではないのでしょうか…。…後略…

【あべのコメント：日本は根性主義的、精神主義的で、「やればできる」「努力でカバーするべき」みたいな発想がよい。ほんとは効率、合理性を追求してもいいはず。睡眠不足で仕事なんてできないのは当然のことなのに、「徹夜でがんばった」ことに意味を見いだそうとする。そうではなくて、メリハリのある生活、仕事がいいですね。そもそも仕事なんてしたくないですけどね。とにかく、のんびりしたい。】

私は小・中・高の授業が嫌いだった。当ても嫌いだったし今も嫌いだ。小・中・高は特に大量生産のベルトコンベアによって出荷（卒業）させられるような気分だった。欠陥品（問題児）がいればよってたかって排除しようとする風潮がある気がしていた。高校に上がれば自由度が増したため大量生産品のような気分になることはなかったと思える。しかし進学率重視の学校だったため定期試験や模試で平均点が上がった下がった、となりのクラスと比べて点が取れたただのいちいち騒いでいるさかった。テストの点数を名前つきで貼り出していることもあり、いつも底辺だった私は「なんだかなあ」と思っていた。発破をかけてやる気をおこさせるつもりだったのだろうが、発破をかけすぎて学校に来なくなってしまう生徒さえいた。これには私もあきれてしまった。学校に来なくさせては本末転倒である。教師だって発破をかければやる気を出すタイプのもとの気持ちが折れてしまうタイプのものがあることくらいわかっているだろう。しかし私個人としてはテストの点数が悪いくらいで不登校になってしまう子にもあきれてしまった。テストの点数が低くて大学受験に失敗してしまうことを恐れて不登校だなんてそれこそ本末転倒である。試験や模試は大事だがそれだけではないということにどうして気づかないのだろうと当時はずっと思っていた。

【あべのコメント：「それだけではない世界」を見たことがなければ、わからないことってたくさんありますよ。】

…この授業は、書く紙が2パターン用意されている点や考え方に対してこうあるべきだという定義を示す方向よりも、多様な視点を得られる点良かったと思いました。

【あべのコメント：コメントシートを2種類提供するのなんて、ものすごく簡単なことですからね。たまたま講義室にほかの授業のコメントシートが1枚あって、すごくおどろきました。ものすごく小さい紙で！あれはひどい。あんなことはしてはいけない。不器用な人は小さい字を書くのが苦手です。】

一般教養の科目って、多分ほとんどの人が取らなければいけないから取っていると思うのですが、そういった科目のテストで重要単語を記憶してくる、持込不可といった形式の問題を出されると毎回疑問に思います。一般教養の科目の目的って、学生に考えさせることであって、それについて覚えさせることではないと思います。…後略…

【あべのコメント：「その授業の目的」をきめるのは担当教員です。その権限、裁量を教員はもっています。】

…この授業について：今まで触れる機会がなかった多様な視点で、今まで自分が見知りしてきた世界を見ることができるとても良い内容でした。自分が他人に「こうしたら良いのになんでできないんだろう」とか、他人と自分を比べて「周りはできているのにどうして自分はできないんだ」とか、一つの判断基準に縛られた考えに固まらないことが大切だと気づけたことは大きかったです。このことがもっと社会に浸透し、より暮らしやすくなったらいいなと思います。

私はコメントシートを書く際、その日授業で扱った無いように関わる経験をふまえた文章がなかなか思い浮かびません。いつも自習のプリントで周りのコメントを読み、自分も似たような経験があったと気づかされます。自分がそこから何か感じ取れているか否かの違いだと思いました。大学での学びでは周りとは違うものを書くおに意味があると仰っていましたが、つまりは同じ意見考え方では価値がないということでしょうか。…後略…

【あべのコメント：意見や考え方はその人のものです。価値がないとか、そういうことじゃないです。たとえば研究論文で重要なのは、その結論をどのようにみちびきだすのかということです。その方法やプロセスが大事なのです。今回のテストの趣旨は「アンテナをきたえる」ということです。たとえば、「ウェブを検索して一番上にでてきたものをえらぶ」というようなことでは、アンテナをきたえることはできません。そんな安直な「解答」は、ほかの人が読んでも「おもしろい!」とは感じません。「参考になった!」とはなりません。「うん、知ってる」となります。】

これまでのテストでこれはひどい…。と思ったのは中学のときの美術のテストです。絵画の名称とその作者名や、美術の歴史を問う問題はまだやることに意味を感じられるんですが、教科書や資料集に載っている文章をそのまま穴埋め形式で出されたときは、これは一体何を学んでいるんだろう…?と疑問に思いました。…中略…家で勉強するということが出来ません。学校や図書館とかカフェとか、他の場所ならなんとかできるのですが、家だと本当にできません。多分、家は唯一の心休まる場所であるから、リラックスするスイッチが入ってしまうのだと思います。しかし、私の家は田舎にあって、近くに勉強できる場所がないので、テスト前や受験前はいつも困っていました。

【あべのコメント：よくわかります。わたしもそうです。いまは月に6500円くらいの料分で24時間使用できるワーキングスペースを利用しています。はかどります! 学生のコメントの入力も、そこでやっています。このコメントも。】

…大学のテストでも、先輩から過去問を手に入れて勉強している人もいます。先輩とのつながりがある人が有利になるテストでテストの意味って何なのかと疑問に思いました。

高校生のとき、国語表現という授業で調べものをしてパワーポイントで発表をしたのですが、そのとき参考にした本やウェブサイトの出典はのせませんでした。大学に入って何枚ものレポートを書くようになってから思うとあれはきちんと参考文献をのせるように教えておくべきではなかったのだろうかと思った。…中略…普通の生活じゃなかなか知れないことをこの授業を通して知るだけでも自分の世界が広がったと思います。ただ授業の後半ではほとんどの人がコメントを書くのに夢中で話を聞けないこともあったので授業が終わったあとから全員メールで送るようにした方がいいのかなと思いました。

【あべのコメント：高校の教員は研究論文を雑誌などに投稿した経験がない人がほとんどなので。学部で卒業論文は書いたけれど…という人が多い。/映像をながしているときにコメントを書いている学生がおられるので、申し訳ないなあと思います。メールだったら、わたしも手入力しなくて楽ではあるんですが…。メールはメールで処理が大変。】

私の学科はテスト、といってもほとんどが記述です。あるテーマについて説明したり、自らの考えを述べる形式になっています。答えが一つのものであれば、あとから解答を見直し、自分で答え合せができますが、レポート含め記述形式では、どういった点を評価するのか分からず、A~Dの成績でしか判定できません。テストの良しあし、とは少し異なってしまったりはしますが、テストのあと、レポートや記述についての「解説」がほしいといつも思います。出してあげればC以上というようでは、どういう点でその評価なのかもわかりません。

【あべのコメント：受講生がたくさんいると、成績つけるのはすごく大変です。ある程度、採点の基準などをオープンにしておく必要はあると思います。】

テストのユニバーサルデザインはもちろん必要だけど、授業のユニバーサルデザインもあっていいと思います。学校での授業はつまらないけど、カフェや自分の家だったら同じ内容でもやる気ができるという人もいます。塾の授業だけでなく、他の環境でもライブ授業が必要です。出席ばかり重視するのではなく、その人がしている勉強の質をみるべきです。…後略…

【あべのコメント：講義内容を動画にする教材は今後どんどんふえてくるでしょうね。反転授業という実践があります。わたしも他大学の教員に依頼されて動画教材を何度かつくった経験があります。わたしがしゃべっている動画です。】

…多文化理解や平等性について学んできましたが、先生自身はどうしても抜けない不平等な考え方はありませんか？ その辺気になってました。少数派の人々の存在を認識しないと不平等扱いされるのは大分きびしいものがあります。常にこんな人がいるかもしれないと考えながら過ごし、何か一つ作る時も配慮してもしきれず、キリがないからです。配慮しつつけた結果、いきつくところは、健常者も生きづらい世界になりそうだと思っています。何一つ発言するときも偏見だ、差別だと言われ、足りない配慮を指摘される。最近は、ちょっとした発言に敏感すぎると思います。何もできなくなります。何かを平等にすると、その反面どこかで不平等が生じるので、その辺りも皆考えてほしいです。わたしは片耳が聞こえないのですが、入試や模試のリスニングの時の席が考慮されていました。障害者手帳も診断書もありませんが、先生が毎回会場に連絡してくれて、スムーズに対応されていました。こういった丁寧な対応は本当に嬉しく思います。あまり知られたいものではないので、自分で直接言う勇氣はもてませんので。

【あべのコメント：こういう授業があってもいいだろうというスタンスです。わたしが女性で外国出身だったら、同じ内容では授業できないと思いますよ。はげしい反発をうけて、攻撃されるので。／わたしがこどものころ、市内バスの座席には灰皿が設置されていました。そのころからすれば、たとえば喫煙者は生きづらくなっただしょうね。でも、ぜんそくに苦しんでいる人からすれば、レストランも職場も交通機関も、タバコのけむりだらけという社会はしんどいわけです。現在は、いろんな人がいることが、わかりやすい時代です。発言する人がいるから。むかしは、そもそも発言する場もなければ機会もなかった。ただ一方的に差別されていた。セクハラという概念もなかった。ひとりひとりの一般市民の責任というのは、ちいさいものです。いろんなことの権限がない一般市民になにか過重な負担を強いるという趣旨の話はだれもしていないです。大事なのは、影響力をもつ人には、それだけの責任があるということです。国や地方自治体、あるいは大企業には社会環境をよくしていく責任があります。大学教員にも責任がある。】

わたしの経験したテストのうち、良かったものは、数学系のテスト全般です。ただ暗記するだけではなく、暗記したものを応用して式を解いていくからだ。ただ暗記するだけではテストが終わったら忘れてしまうが、数学はかなりの確率で体が解き方を覚えているので身につけている。ひどいと思うのは、ただの暗記科目…後略…

…よかったと思ったのは高校の頃のテストだ。そのテストはほぼ全問記述式で途中式もすべてかくものだった。この形式にすると答えが間違っても式が合っていたら部分点をくれるというもので、私は数学や理科などは途中の考え方が大事で、あとは計算ミスするかしないかだと思っているので、過程もみってくれるテストは良いと感じた。…後略…

テストでは特にひどいと思ったことはないが、昔音楽が何かの感想を聞かれて答えたら先生に「そんな教科書みたいな答えいらない」と言われてショックだった。無意識に「正しそうな感想」を考えてしまっていたのかもしれないと思った。…後略…

…授業について良かった点は、いつでも授業の内容を振り返ることができるということです。プリントに先生の話す内容がほぼ書かれているのでいいなと思いました。逆にほとんどの内容が書かれているため、先生の声聞こうとする意欲が少し低下してしまうこともありました。すみません。でも、先生が参考文献やデータ元を示してくださるため、自分の理解する手助けとなりました。…後略…

【あべのコメント：プリントを読んで誤解なく理解できる人は、それでいいと思うのです。そもそも、学生が自分で関連図書などで自習すればいいことだし。授業は、プリントの内容をかみくだいて解説すること、それにくわえて、関連する映像や話題を紹介することを基本としています。結果として、学生から「ためになるコメント」があつまれば、その回の授業は成功したと満足できます。途中で寝ている人がたくさんいても、わたしはまったく気になりません。】

…授業のコメントはどの様な観点で載るコメントとそうでないコメントに分かれますか？ 同じ様なコメントで載っている人がいて、何が違うのかわかりませんでした。

【あべのコメント：のる・のらないは、たまたまのこともあるので、あんまり気にしないでください。できるだけ紹介しようとはしていますが、こちらにも限界があります。今回も、量をたくさん書いてくれた学生が多くて、内容がよくてもものせられなかったコメントがたくさんあります。もうしわけない。でも、これだけの量を入力するのも大変だということも理解してほしいです。】

…この講義ではたくさんの情報の入り口が提供されて気になったことは自分で調べることが多かったです。また前回のコミュ障についての所とかは特に、新しい考えや発見があって面白かったです。…後略…

— — —